

## 64 急傾斜地崩壊防止施設の景観に関する住民意識について

新潟県土木部砂防課 磯部 茂  
新潟県新津土木事務所 高田 進  
株式会社 オリス 清野 雅雄、青木 厚  
中山 修、○広田 英之

### 1. はじめに

近年、砂防施設、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設及び雪崩防止施設の建設にあたって、景観や自然環境への配慮がなされている。「公共事業の説明責任（アカウンタビリティ）の向上行動指針」、「緑の政策大綱」及び「緑の砂防プラン21」の策定を受け、今後ますます景観や自然環境への配慮の高度化が求められていくと思われる。平成9年河川法改正にあるような住民参加の流れも重視する必要がある。

そこで、施設が民家に比較的近接して設置されている急傾斜地崩壊防止施設を取り上げ、景観や自然環境に関して直接関係住民に面会し、聞き取り調査を行った。

### 2. 調査方法

新潟県下全域において既設急傾斜地崩壊防止施設のうちコンクリート擁壁工を中心として、各土木事務所1～3箇所・計35箇所を選定し、調査箇所地域の代表者（区長、町内会長など）及び急傾斜地崩壊防止施設直下（直上）の住民1～2人に面会し、聞き取り調査を行った。聞き取り調査に御協力していただいた方々は、区長24名・急傾斜地崩壊防止施設直下（直上）の住民37名、合計61名であった。

景観や環境に配慮した急傾斜地崩壊防止施設の様々な事例の写真や図を提示して、それぞれについての特徴などの簡単な説明をした後に、聞き取り調査を行った。

### 3. 調査結果

聞き取り調査の設問は1)「現状について」2)「景観・環境に配慮した施設について」3)「建設費について」4)「住民参加について」5)「維持管理について」の5問である。聞き取り調査の結果を地域別、施設の規模別や対象者別に分類した。その中で、対象者別に分類したものが特徴的であったため、区長・男性・女性別に集計した分類を採用した。上記5つの設問に対する回答を文末の表1～表5にとりまとめた。

なお、回答を頂けなかった設問や複数回答もあるため、人数と総数は必ずしも一致しない。

### 4. まとめ

今回の聞き取り調査で総合的に言えることは、現状では、住民は景観や環境に配慮した急傾斜地崩壊防止施設を必ずしも求めているということである。住民にとって、急傾斜地崩壊防止施設は、現状の施設が当たり前と感じている傾向が強かった。景観などに配慮した施設を必ずしも求めている理由として、調査対象の急傾斜地崩壊防止施設のうち、そのほとんどが山裾の農山村部に設置してあるため、周辺には緑がたくさんあること。家並みに施設自体がある程度隠れており、目立たない状況になっていることなどが考えられる。

景観・環境に配慮した施設を導入する場合、地域住民の多くは、見た目に安心感がある擁壁工を希望し、景観面ではコンクリート前面に化粧型枠を施したものを、環境面では維持管理に手間のかからないツタで構造物を覆う方法を望む意見が多かった。一方、緑を積極的に取り入れたいという意見はあまりなかった。

今後、急傾斜地崩壊防止施設にも景観・環境に配慮した施設が増えてくるだろうが、住民の認識はまだまだ薄い。住民の意識を向上させるには、従来の行政主導ではなく、計画段階から話し合う「住民参加型方式」が考えられる。「住民参加型方式」は、地域住民に、より親しまれるものを提供するであろう。例えば、植生を

導入すると維持管理の問題が生ずる。コンクリートだけの構造物であれば工事の終了時に完成となるが、植生を導入した場合は工事の終了時点からその形成がスタートするため、維持管理は不可欠であり、地域住民が中心となって行うケースも出てくると思われる。この場合でも、「住民参加型方式」で合意された事項であれば、住民の意欲や責任感が出て、維持管理が徹底されるのではないかとと思われる。

いずれにしても、よりよい施設をつくるためには、地域の特性を踏まえ、まず行政側から働きかけを行い、住民の意識を高め、地域に密着した急傾斜地崩壊防止施設を整備していくことが考えられる。

表1 現状について

	区長	男性	女性	合計
満足している	9	5	17	31
満足だが、多少不満・不便な点がある	12	5	5	22
気にしたことがない	2	1	2	5
不満である	1	1	1	3
	24	12	25	61

表4 住民参加について

	区長	男性	女性	合計
必要だと思う	16	2		18
地域に合わせる			1	1
行政に任せる	2			2
関心ない	1		1	2
	19	2	2	23

表2-1 景観・環境に配慮した施設について(歓迎する、必要と思う)

	区長	男性	女性	合計
自然に調和したものがよい	6	2		8
見た目がきれいでよい	5		4	9
まあ、いいんじゃないの	3	3	3	9
	14	5	7	26

表5-1 維持管理について(地元でやっていける)

	区長	男性	女性	合計
積極的に参加したい		1	1	2
住民は協力的だ	2			2
町内で人夫代払ってでもやりたい		1		1
何とかやっていけるのでは	2			2
地元の心構えが必要	1			1
	5	2	1	8

表2-2 景観・環境に配慮した施設について(それほど必要とは思わない)

	区長	男性	女性	合計
場所により必要かもしれないが...	6	1	4	11
人によりけり			1	1
整備率向上が優先	3		1	4
安全第一	2		1	3
興味・関心無し		1	4	5
今のままで十分	2	3	4	9
	13	5	15	33

表5-2 維持管理について(地元でやっていくのは難しい)

	区長	男性	女性	合計
行政などから指導されればする	1		2	3
金銭的な補助があれば地元でやる	5			5
個人的に自分の家の裏ぐらいならするけど...	3	1	3	7
地域に合わせる			2	2
急傾斜となれば危険でできないのでは	6		3	9
時間が経つにつれ関心が薄れるのでは...	1			1
行政にまかせたい			1	1
住民のまとまりない、集まり悪い、みんな忙しい	2	1	2	5
めんどうくさい			1	1
	18	2	14	34

表3 建設費について

	区長	男性	女性	合計
多少高くなってもよい	8	1	1	10
個人の負担がなければよい	7		4	11
お金の大小による	1			1
どちらでもよい		1		1
高くなるならいらない			3	3
	16	2	8	26